

本当に必要か？大規模展示施設

下奥議員は、名古屋市でも同様の構想があり、大規模展示施設は愛知県に二か所も必要か？東京では東京ビックサイトの誕生でそれより小さい施設の運営が厳しくなっている事例をあげ、「名古屋市との調整はどうなっているか」質しました。

県は「名古屋市が調査をしていることは承知している。県は県内全域を視野にい入れているので、必要に応じて名古屋市とも情報交換をしていきたい」と答えるにとどまりました。

下奥議員は、建設や維持においても県に莫大な負担がかかることを指摘。東京ビックサイトは建設費1985億円、幕張メッセは726億円もが投入されていることを上げ、県の負担が膨れ上がる可能性がある。オリンピック期間中のイベントの誘致を目論んでいるようだが、その後は大イベントは年に数回しかなく、どれくらいの需要があるのかという懸念もあることから反対の立場を表明しました。

給水実績下回り、三河湾を死滅させる設楽ダムは不要

計画見直し検証結果をもとに知事が同意した設楽ダムの建設中止を求めて質問しました。

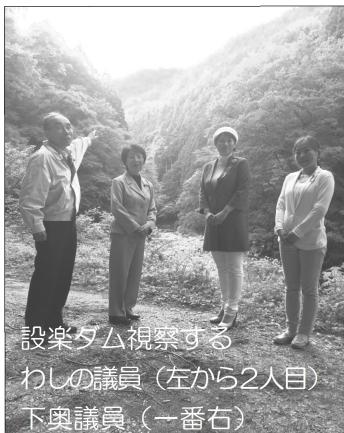
下奥議員は、豊川水系フルプランにおける水道用水の2015年度想定量と実績を示せと迫りました。県当局は「計画では $4.53\text{m}^3/\text{秒}$ となっているが、2012

年度の実績は $3.42\text{m}^3/\text{秒}$ 」

と $1.0\text{m}^3/\text{秒}$ も下回っており、 $0.2\text{m}^3/\text{秒}$ を開発するダム建設の必要性がないことが明らかになりました。

また、「豊川河口に広がる六条潟干潟は三河湾の宝と言われている。愛知県だけではなく日本の漁業にとっても大切な干潟。干潟喪失の恐れがある」と指摘し県の認識を問いました。県は、「昨年度のアサリ捕獲量は1万600トンで全国の55%、全国屈指の産地となっている」認めました。

その他「流水の正常な維持のために、ダムで川を堰止める矛盾」なども指摘しながら「設楽町では、自然破壊と合わせて町民同士の構も生じている。ダムによらない地域振興策を真剣に検討すべき」と強く迫りました。



設楽ダム視察する
わしの議員（左から2人目）
下奥議員（一番右）

飛ばせる「ゼロ戦」を展示！？

名古屋空港に見学者受け入れ拠点施設を整備する問題に対し「ゼロ戦を展示することは、戦争美化につながるのではないか」県の認識を問いました。

県は、ゼロ戦には全く触れず、「ものづくり愛知のコンセプトを踏まえて、これから調査をする。具体的には何も決まっていない」と答え、全くかみ合わない答弁になっています。

靖国神社の遊就館では「殉国の精神は永遠に語り継ぐべき」と解説されている点、「日本の名機100選」に戦闘機について「果敢に挑んだ」「命中率を上げた」など称賛するコメントがつけられている点に触れ、展示もこれと同じような内容ですか。また、豊山町や春日井市の議会で「飛ばせるゼロ戦を展示したい」という話を聞いたが本当か」「ゼロ戦のエンジンをふかすことくらいはするかもしれないというのは事実か」という指摘があつたことを取り上げ、このような計画は事実か、と問いただした。

県は「展示コンテンツを理解してもらうためにイメージとして載せた」と答えたものの、「何を展示するかは具体的にはまだ何も決まっていない」の一点張りで、「する」とも「しない」とも明言は避けたままで。

下奥議員は、「太平洋戦争末期には爆弾投下が愛知県が最も多かったのは、軍需拠点になっていたから」であったことや、今またF35の整備拠点とされていることを指摘。県議会では昭和38年に「平和宣言を宣言していることから、軍需産業の三菱重工へ多額のお金を出すべきでない。戦争美化の恐れのある見学者受入拠点施設に強く反対しました。